日刊 【1】「除月曜」 昭和25年10月6日 第三種郵便物認可 運輸省特別扱承認第684号
磐城日日 昭和28年（1953年）8月8日（土曜日） 第904号

磐城日日

発行所
磐城日日新聞社
福島縣小名浜町渚廻51
電話代表387番
編集兼発行人 長瀬壽一

雑誌・機關紙
チラシ
事務用印刷物
長瀬印刷所
LET 219-387

塩市議一家三夫婦が渡初め

懸案の平こ線橋

十四日駅前で完工式

前鈴木市長時代から懸案だつた平市三十メートル道路から物見ガ岡に通ずる平跨線橋は盆前完成を目指して晝夜兼行の突貫行事を行つて来たが、完工式の日程について平市ではこのほど跨線橋建設特別委員会を開いて協議した結果来る十四日午前十時から駅前廣場で行うことに決めた

完工式は國鐵、市関係者約百数十名が集つて行われ、市内北白土鹽濱英市議一家三夫婦が渡り初めをし一般に公開することになつた

なお祝賀式は午後一時から平市公会堂で行う

全跨線橋は總工費千三百九十万円で延長百四十五メートル、幅員三、六メートルの鐵筋コンクートで南口は階段式となつている

最新式の火力発電

電力確保の常炭で増設

常磐炭礦では現在の平火力発電所の増設を急いでいる、これは鹿島坑の若返り五カ年計画、上矢田田野坑の新設などにそなえて電力を確保しようとするものである

建物の骨組は完成し、機械類も續々入荷している

この増設計書とは、従来の一万一千キロワットに加えて五千キロワットの発電所を新設するもので工事は約三億圓の巨費を投じて今春着工、十一月末日までに試運轉を行い本年中に操業を開始する予定である

なお二階建延建坪五百坪の新発電所は低品位炭を使用するのが狙いであるため扇風機、ボイラーなどにいままでにない新設計がおとなわれており、完成は各方面から期待されている

小名浜區長会

小名浜町区長会は七日午前九時から公民館で開き役場廳舎建築費寄附問題について協議した

廳舎建築費の寄附は一般寄附二百万圓、特殊寄附が二百万円で、七日現在で一般、特殊合わせて四十三万円であり、区長会では本格的な寄附募集を行うことを申合わせ、一般の協力をあおぐこととなつた

戸部連合を結成

戸部系傘下の好間村小田内郷町戸部、全町山崎、磐崎村小野田の各炭礦勞組では常日鑛、舊日鑛常連）所屬で諸事情の面で共同斗爭が出來なかつたが、こんどの夏季手当で揉め組合側では第五回準備會で「戸部連合」結成の機運が濃くなつて一齊に実力行使に入る强硬態度をみせて來た

九苦學生に温情

平工後援会の施設で

今春定時制が新設された縣立平工業高等學校（校長大野三郎氏）の生徒はいま夏休みに入つているが、何ずれも向學心に燃えて晝間職場に汗みどろになつて勤め、中には三十才余りになる感心な学生もいると云う

これら定時制生徒の福利施設として附設發足と共に平工後援会（会長戸部光衛氏）の熱誠あふれる援護施設には定時制生徒の感謝の的となつている

全高校東側に併設されている後援会の機械工場がそれで、今春全縣下一圓對照に新制中学を卒えて進学意欲に燃え乍ら貧困家庭ゆえに惱んでいる志願生の一助として九名を選考、條件を附さないで採用し生産課程の一つとしても重大な役割を果すものとして、これら入所生には毎月五百圓程度の小遣いを始め、ノート、作業服、賄費とともに無料で與え、何ずれも八時間勞仂でたのしく晝間職場にいそしんでいる

なかには隔月毎に五百圓から七百圓を家庭へ送金している感心な学生も見られ、現在全機械工場脇の假設寮も来年度新入生を迎えるに備え、いま定員五〇名收容の新らしい寄宿舎建設を急いでいるとの施設に惠まれた環境に於かれる生徒には勿論奨学制も與えられ定時制課程四年を経て大學に進學する場合、習得の機械技術を活かし、上京して就職難も吹つ飛ばし一挙両得で勉強出来るわけそして入寮制度は各高校に誇り夜のおとときや日曜などの憩いは実に睦まじいばかりであつた（小林）

大野校長談 苦しいながら進学意欲に燃えているものには本當に一擧両得ですこれも戸部さんが赤字を以て舎費、食費代を徴收しないので生徒は大助かりで、その並々ならぬ御協力には感謝せざるを得ません

編物、洋裁講習会

四日から錦町婦人会で

錦町婦人会（会長赤津貞子氏）では四日午前八時より錦町小校講堂に役員会を開き八月中に実施する編物、洋裁講習会の日程講師など決めた

洋裁講習会は五日より約一週間中田、呉羽、大倉江栗、長子など各地域別に夫々開くことになり、講師には助川記代先生、熙文子先生、宮田先生が擔當することになつた

また編物講習会の講師には平原静江、福田キヨ、遠藤、山縣八千代の各先生に夫々決定した

終つて改良カマドの講習会が錦小學校に於いて開かれた

講師は金原政男氏で引續き五日より各地域に開くことになつた

植田で官廳對抗の野球

植田町の官廳對抗野球大會は來る九日（日曜）午前九時より植田町小學校、全中學校グランドに於て開く

冠水後の

水稲成育狀況調査

泉町の減收二八%か

石城郡下その後の冠水田稲作成育狀況は低温曇天日数が平年より頗る多くこのため草丈は平年並みなるも莖數に於ては一株平均三、四本少ない作況におかれている

泉町役場では七月八日の大雨による四晝夜の泥水浸水をみ、減水以降の村内調査によれば次の通りとなつている

十一日より十六日までの天候の回復で冠水田被害田の復舊防除對策を実施した結果、多少の樂想は立直りつつあるが冠水不田との差は依然として一目明瞭な成育振りで、とに流尻、本谷、下川など相當量による減收が予想される、町役場では農作物病虫害防除團員の打合せを開き減水後から落落病虫害防除班をしていもち病、黄化萎縮病などの発生に備えて次の日程で特製王銅ＤＤＴ乳剤の薬剤撒布を実施する

十四日、十五日＝瀧尻部落八町二反歩（活動人員百名）

十六、十八日＝本谷部落六町一反歩（活動人員四十五名）

二十日、二十一日＝下川部落九町歩（活動人員五十名）

これに引續き特製王銅二五〇K、セレサン石灰一二〇、DDT乳剤一五〇を以て連日巡回で動力噴霧機二台、撒粉機一台、ハンドプラザー五台、その他を使用して例年多發地より消毒実施に万全の策を講じ懸命となつている

なお町役場調べの減收予想は次の通りになつている

本谷一〇三反歩、平均減收予想三五、五%、泉六二反歩、一六、五%、下川二八〇反歩、一九、三%、町坪一八四反歩、三六、五%、村坪一二三反歩、三四、八%

合計七五二反歩、二八、五%

松川にレクリエーション

呉羽の從業員

呉羽化學工業株式会社錦工場（工場長山縣孝雄氏）では来ぬ九、十、十一の三日間勿来町松川磯海水浴場に於いてレクリエーション大会を開く

眼科
赤石沢医院

常磐炭礦の親善野球

常磐炭礦の常磐部課長チームでは岡田乾電池の女子野球チームを招いて十日午後四時半から湯本町浅貝球場に親善野球大会を開く

酔つて汽車に轢れる

身元不明の男

六日午後八時五分ごろ小名浜臨港鐵道宮下駅附近の踏切りを酩酊の上徘徊中の年令二十五才から三十才ぐらいの身元不明の男が下り泉發八時四十九分発一三五列車ヂーゼルカー＝運轉手小名浜町愛宕下小松保夫さん＝の安全燈に正面衝突し顔面のほか右足首を切斷され即死した

小名浜地區署で検死の結果、身長五尺三寸ぐらいのヤセ型で頭髪を左に分けており、上大第二齒はサンプラ、白のワイシャツ、丸首シャツ、綿ジャンパー、赤革靴に茶色靴下、度の弱い銀縁近視眼鏡に國鐵植田から湯本の片道の切符を持つているところから湯本近邊の者ではないかと身元照介中である

磐城礦が法務大臣賞

法務廳では先きに社會を明るくする運動の一環として更生保護事業民間協力功勞者を選考していたが、このほどその表彰事業者を決定した

本縣では常磐炭礦磐城礦業所が法務大臣賞を贈られることを決定、とのほど通達があつた

磐城礦業所は二十四年以降、平、湯本、内郷地區保護司會に協力し五十六名を雇用したのを初め二十七年度には炭礦用中古枕木を無償提供して薪割作業を行わせ、賃金を支拂い、延八百余人の就業を援助するなど失業救濟に貢獻したものである

魚菜市況 7

（小名浜中央青果市場）

卵一一、五～一二、三大根七〇～八〇玉な七〇～一七〇玉ねぎ四〇～四九とまと八〇～一二〇馬鈴薯五五～六〇人蔘八〇～一一〇南瓜二〇～五六なた豆一〇〇～一四〇唐君（本）六、五～九牛蒡一六七～一九〇胡瓜七〇～一六〇ねぎ一一〇

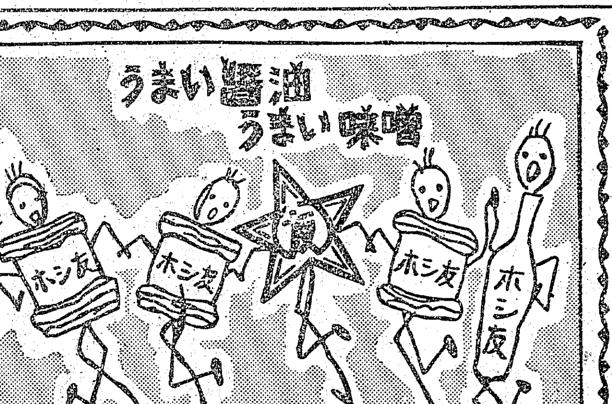
（魚市場）

冷凍さんま（三貫入一函四五〇～五〇〇かつお四〇〇～五三〇若子三六〇小鯛七八〇あじ二七〇いか三四〇平目八二〇

チケット歓迎
ゆかたとかやの季節
かや、太綿、片麻、本麻
東京本染ゆかた各銘柄品
パラソルと洋傘学童用傘
レインコート絹ビニール
男女雨靴運動靴サンダル
丸首メリヤス女性着各種
婦人帽パナマ帽ミルキー
開衿シャツ替ズボン特價
化粧品柳屋メヌマ ジユジユパピリオ 80円
野球卓球庭球用品各種
海水着海水パンツ海水帽
菓子切手葉書印紙たばこ
經費をかけずに良い品安く
お買物には先づ平マーケットを思出して下さい私共は常に貴方の御相談相手として待機しています
皆様の店
平マーケット
小名浜第二小学校前 電二九七

戒名紋入
金提灯
小泉提灯店
小名浜町竹町

婦人科
産科
久保田醫院
院長 久保田眞
副院長 久保田眞一
助産婦 久保田イネ
小名浜町横町（電二二）



ホシ友醤油株式會社 社長 星友太郎

不況で整理が續出

大日本勿來も人員縮少

石炭不況は中小炭礦から大炭礦まで波及し、との不況にあえぐ炭礦では人員整理が目立つて來た

平石炭支局がこのほど調査したところによると、七月までに次のような數字が出て來た

大昭炭礦（植田地區）では從業員五百一名中五四名を整理、品川黒田炭礦は百八十九名中六十八名、龍宮炭礦（双葉地區）が百七名中三十九名、久の濱炭礦が八十四名中三十九名その他八炭礦で三百三十八名が整理されている

大所では大日本勿來炭礦が去月二十七日の勞使協議会で、炭礦側が「石炭の不況と資材の値上りでこのままでは經營困難になる」ことを理由に、定員法を改めると云う人員整理を口頭で提示し六日ごろ正式に申入れを行つた

これに對する組合では「この案で從業員千七十九名を坑內夫五百四十名、坑外夫二百二十名とする定員制にすると、現在日産一人当り十一トンから十二トンの能率を人員縮少して一人当り十五トンに上げ、月産一万二千トン出すと云うのは、一方的な經營の合理化で、勞働强化不當の案である」と早くも反駁の狼火をあげており、組合大会などで定員制反對の對策を進めており、その成行きが注目されている

魚釣り大会

水戸鐵道管理局主催の魚つり大會は十一日午前九時より植田の各所鮫川河口に於て開催する

このつり大會は毎年水戸鉄道局が管內の職員の健全な趣味育成の目的で行うものである

なお舟代は一舟六〇円とのこと

夏休の生活指導

小名一小PTAが協力

小名浜第一小學校夏季生活指導は去る二十三日から實施しているが、八日からの綠蔭學校は全町横町自性院に開設、次のプランにより續いて藝能（音樂）会、運動會を実施

教員はじめPTA側でその指導に當る

◎映畫會（幻燈）

八日學校（竹町班）九日東町班、十日諏訪神社（諏訪町班）十一日學校（汐留班）十二日學校（中島班）自性院（横町班）

◎遠足

十三日製鹽工場へ（汐留班）十四日永崎海岸へ（花畑班）十五日全海岸へ（下神白班）

◎音樂会

十日明神境內（上神白、下神白、三崎班）十四日講堂で（本町）修生院で（東町）自性院で（横町）

この組は映画になる予定

十五日八坂神社（後宿班）公民館（竹町）講堂（中通り）

◎運動会

八日ドッチボール（上神白女子）十一日水產学校（東町）十二日海岸（中通り）十三日球技會（横町）

闘病の記

（随想）

こばやしゆうぞう

雨雲が去來するどんよりと曇つた濕つぽい六月の空に、プラタナスの蔭をツバメが、すいすいと行き交うている、プラタナスの高い梢にただ一つ取り殘された風船を見つめていた私はこの夏を無事に過すことが出來るであろうか——死の恐怖におそわれ、幾夜續くとも知れない心の悶え！何か大きな聲で叫びたい衝動にかられた、思へば私が病床についてから二ヶ月になろうとしている、入院したときは雨近い日が幾日もつづいた、だが芍藥、つつじ、ふじ、チューリップ、などの美しく咲いてた若葉の世界であつたのだ、消化器疾患から慢性虫垂炎に病む私は今日まで闘病をつづけ、手術後の經過は悪く三重の余病併發したにもかかわらず、よくも生き抜いて來たと思うと自分がいじらしくなり、ただ涙がとみ上げてくるばかりだつた

それは悲しい切ない闘いであつた

そして私はこれからもこの病苦と取つ組んで力のある限り闘いつづけて行かなければならない、恢復の日までか……あるいは死の刹那まで、きょうは珍らしく大空には雲もなく澄み渡つた五月晴で空氣はミルクの様に甘くサンサンと降る日光が金粉でも撒き散らすかのように外は眼が痛む程の若葉の世界で、美しくてたまらなかつた、しかしメイフラワーも美しくつていいが　それよりも若葉の方がいいと思う、何故なら花の生命は短かく、その最後のみぢめさよ、

それに引かへ若葉には伸びようとする意氣があり生命が長い

この間、私が水戸市內S病院に入院したことを知つた哲学好きで早大卒業後NHKに勤めている親友H兄はよくパッショネートな手紙を寄越した奴だがついこの前所用のため歸郷した折をみて白い二階の小さな病室にただ一人ベットに横たわつている私を訪つれて呉れたのだつた、嬉しく泪す聲すらつまつてしまつた私はそれでも元氣なH兄に「君は元氣でいいなア」と呼びかけ丈夫な身体を絶讃したところ、あべとべに友人に「君は死と取組んだが、それによつて何を得たか」という質問をされてちと面喰らつたどね、健康であることだけれどの幸福が病氣をすると、しみじみ判るね、それから人間への執着が如何に强いかということも切実に体驗したよ、生きる喜びは苦しい闘病生活をした人でなければ本当には判らないという氣がするね」

とんなことを云つたが親愛するH兄が歸京してから改めて私は「この長い間の闘病で自分は果して何を得たろうか」としばし靜思に更けつた

光は柔かく病室にも余す所なく注いでいる　窓際に置いた金魚鉢の中で赤いヒレが動く度びに眞白い天井に映つた明るい斑点がフワ／＼フワ／＼している、考えてみればまこと修養にはなつた、性格も変つたようだ、また悲劇にも耐え得る强い精神にもなつた、感謝する心、何者をも愛する心などにより私の人格は聊か向上したと思う、そして病氣の爲に失なつたものは余りにも大きく、持つていた理想や抱負はすつかり御破算になつてしまつた、今ではただ健康で生きてさへ行けたならば名譽も金も何もいらないとさへ思うようになつた

巡査死体揚る

溺死後六日劍と小名浜

松本
齋藤

七日朝五時半ごろ泉町劍浜附近で操業中の小名浜町須賀町漁夫皆川武夫さんがふんらんした水死体を拾得して歸つた

小名浜地區署で檢死したところ、去る一日小名浜海水浴場で訓練中行方不明となつた內郷地區署齋藤美一さん（二八）の死体であることが青の水泳パンツで判明した

なお七日午後二時半ごろ小名浜海上保安部內火艇"きぎく"が港內警かい中、三千トン岸壁近くの海面に浮游している死体を發見、拾得して檢死の結果松永正さん（二六）の溺死体と判明した

小名一小本町班の遠足

小名浜第一小学校々外兒童会本町班（會長村上豊氏）生徒約百五十名は七日午前九時より江名町下神白、永崎両海岸へ夏休み校外指導の一環として遠足を行つた

紳服の店
都服装店
小名浜町中通五五

発刊満三周年記念の
無料 法律相談所開設
日時 八月七日、八日午前十時…四時
場所 小名濱公民館
相談擔當者 佐藤光將（司法研修生）
略歴 福島縣双葉郡木戸村下小塙出身
昭和二十一年 磐農高校第一回卒業生
昭和二十六年 明治大学法学部法律科を優等で卒業
在校中至難中の至難、法科學生のあこがれの金的司法試験を一回で合格
現在研修中にて來春三月研修を了える
民事、刑事、商事、借家借地法等法律全般に亘り、親切丁寧にお困り方のために御相談に應じます
皆様方のお出でをお待ちして居ります
主催 磐城日日新聞社

話題が一つ 大海亀帰る

早速水族館にお目見え

海水浴客で連日大賑わいを見せている小名浜に話題が一つふえた、七日朝どこから揚つて來たのか浦島太郎さんが乘つて龍宮に案內されたような大きな海龜が全港內の水族館の中に姿を現わし「あつ、去年の龜が歸つて來た!!」と子供達の目を驚かせた

この海龜さんは六日小名濱沖で操業中の觀音丸（海區調整委員長の齋藤誠吾氏所有）のたて網に入つたのを寄附したもので子供達が判定したように昨年の水族館で人氣のあつた海龜と寸分の違いもないそうで、特に目印？のウロコが證據となつたわけ、水族館では「龜公よく歸つて來てくれた」とあの手、との手で宣傳中である

天氣豫報 8日

（本日）北東の風曇時々晴れますが大体曇りで時々ニワカ雨もありましょう（海上）沿岸はおだやかですが沖合ではやゝ風波が高まりましょう

印刷
御用命ハ
電219

社告

元平支局長 熊谷四郎
石城郡草野村在住

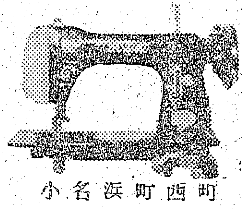
右の者は昨年九月五日より平支局長として在勤せしも本年二月以降出社せず支局長としての責任を解せざるに付き解職す

八月七日

磐城日日新聞社

洋傘専門
高野昌平商店
小名浜町中島

バンコク ミシン
月払2,000円ヨリ
御相談に應じます
チケツト御利用下さい
大和田 ミシン商会
小名浜町西町



8日まで
ニュースコロラド
暁の市街戦
上映中
金美館

募集
外務社員数名
年令30才以上（男女可）
本人履歴書営業所宛郵送下さい

月掛て家が建つ
堅実本位の日本建物
建築の福音!!
家が月掛で抽籤も入札も無く早く申込めば早く建つ東北一の月賦建築住宅は基より店舗工場増築改装修理一切大小に拘わらず貸地相談にも御利用下さい
御結婚にはぜひ月払証券御持參で!!
御申込み次第営業案内御送り致します
平市大町三番地（電五八〇）
建設大臣登録（ロ）第九六二号
日本建物KK平營業所
所長 大樂弘
本社 仙台市
管內出張所
湯本町三函一五〇 電話三〇三・一三一番
小名浜町下町一八
植田町字本町 電話六二番
專屬工事人・連絡所
小名浜町上町五六
小名浜土木株式会社
一級建築士 坂本二郎

胃腸恢復に!!
强力消化栄養剤
僕も私も
パンターゼ錠
是非一度パンターゼ錠を御試用下さい。必ず貴方を胃病より解放することでしょう
サイトウ薬局
小名浜町松の中 電六七八

夏の御料理
うな丼蒲焼
生寿司 江戸前
料理
仕出し
工場直送樽詰生ビール
金時
小名浜驛前 電一二八番

毎度有難う御座います
百円以上御買上げ毎に全商品の割引券を差上げます
スマートなニュースタイル新製テンラジオ・ゼネラルラジオが
六ケ月月賦で皆様を御待ち致します
長山電機商会
[illegible]